

# あなたの地域のまちづくり 夢あじま

第32号

<http://ajimamachikyo.com>

◆発行日 平成30年12月21日  
◆発行者 味間地区まちづくり協議会  
◆連絡先 篠山市立四季の森生涯学習センター内  
TEL/FAX 079-506-1165  
E-MAIL:ajima.machikyo@iris.eonet.ne.jp  
火・金曜日 午前9時～午後1時



味間の様子  
人口 9,405人(男4,515人 女4,890人)  
世帯数 3,923世帯 (平成30年11月末現在)

12歳

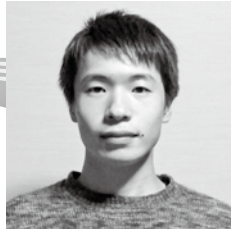


小倉琴子さん(味間奥)

私は今年、小学6年生になります。今年がんばりたいことは2つあります。

1つ目は、学校の授業でたくさん発表することです。6年生になると、問題もむずかしくなってくるけど、自信をもって発表したいです。2つ目は、習い事のバレエのために体幹を強くしたいです。私は、こしがとてもやわらかいので筋肉をつけたいです。

24歳



西川幸佑さん(東古佐)

もうすぐ平成は終わりますが、今年の春から僕は新社会人となり、新しい生活が始まります。

この年男という節目の年にたくさんの変化が待っているのので、社会人としての自覚をもって少しでも早く社会に貢献できるように努力していきたいです。

36歳



山本亜沙美さん(味間奥)

食えることが大好きですが、段々身体を気遣う年齢になってきました。

2019年、健康に気をつけながら、夫婦で美味しいものをたくさん食べて、幸せな年女になりたいと思います。



## 平成31(2019)年 年男・年女の抱負です

48歳



辻 道代さん(味間南)

3世代8人家族だった我が家も子どもが独立し、長男は鎌倉、次男は大阪で仕事、三男は徳島で甲子園をめざし、野球と勉強に頑張っています。

今の私の楽しみは夢をおいかけて頑張る息子たちの追っかけ♥  
その為にも元気に健康で夫婦仲良くすることが目標です。

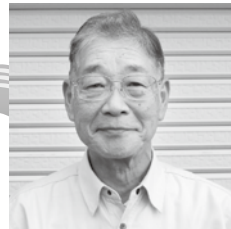
60歳



河南英昭さん(味間新)

還暦の年男として、平成30年11月に取得した国家資格(司法書士)の専門分野を生かし、新たな仕事をスタートさせたいと思っています。また、健康維持のためにフルマラソンにも積極的に参加して完走をめざして挑戦します。気持ちは40歳代で頑張っていきます。本年もよろしくお祈りします。

72歳



河南照宏さん(東吹)

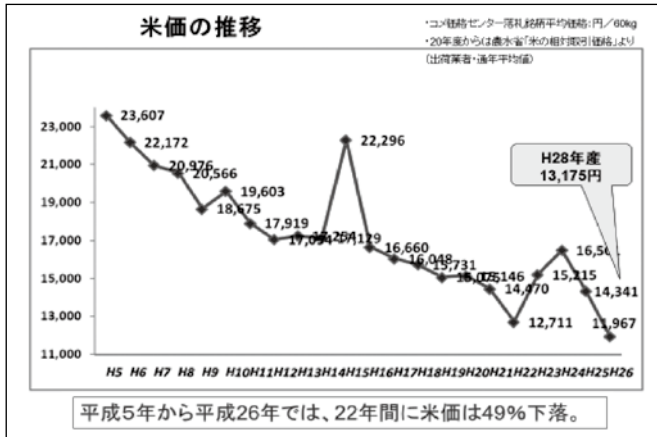
6回目の年男で、こんな年齢になった自分が信じられない気持ちですが、今まで地域人たちに何かとお世話になっており、感謝、感謝の日々です。今後も地域への恩返しがいずれでもできればと思う一方、好きな野菜づくりをしながら、息子・娘夫婦と仲良く、また4人の孫の成長を楽しみに女房にも感謝し、ひ孫を抱ければ最高です。それには健康で毎日を過ごすことかな?できるかな?

# これからの集落の農業を考えよう!

篠山市農都創造政策官 森本 秀樹  
(元兵庫農農業改良普及員)

## 1 農業の課題は「担い手」

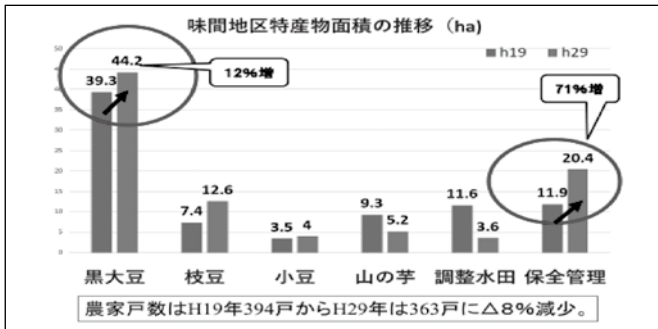
米価の動きを見ると平成5年から26年の22年間で49%も下落しています。



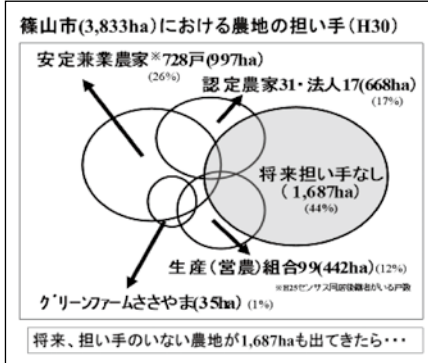
また、米の生産費は1ha規模で10aあたり約34,000円の赤字となっています。

さらに、農地を預ける流動化面積の増加や耕作放棄地の増加、さらには農作業オペレーターの減少や農業従事者の高齢化など、米を中心とする農業環境は年々厳しくなっています。

一方、味間地区の農業を見ると農家戸数は平成19年から平成29年の間で8%減少しています。また、黒大豆の栽培面積は44haと12%増加する一方で、作物を栽培しない保安全管理農地は20haと71%も増加しています。



さらに篠山市の農地の担い手の現状を見ると認定農家や法人組織が668ha(17%)、生産組合が442ha(12%)、後継者と同居されている安定的な兼業農家が997ha(26%)の農地を担われています。しかし、残り1,687ha(44%)の農地では今後の担い手が見えていません。



このように現在の農業を見ていくと、黒豆や山の芋の伝統的な特産物の生産振興と合わせて、これから10年後、20年後に誰が田んぼを作っていくのか、これからの農業・農村をどうするのかといったことが大きな課題であることがわかります。そして、この「担い手の育成」を私たちの最も重要な課題として地区全体で考え、取り組んでいくことが必要となっています。

## 2 みんなで集落農業のビジョンを持とう

「集落営農をすすめるには?」といった集落アンケートの設問では、どの集落でも「できるところから」といった回答が最も多くなっています。では、この「できるところ」とは何なのでしょう?

この「できるところ」を具体的にするのが「集落農業ビジョン」です。そして、さらに農地や担い手を明確にするのが「人・農地プラン」です。まず大切なことはみんなの意向をまとめながら、集落の農業の方向を見つめ、ビジョンやプランをつくることです。

しかし、今後の機械や施設のあり方から話し合うと話が前に進まないことが多くあります。大切なことは、集落内で作られなくなった農地がでてきたらどうするか?などといったみんなに共通する項目から考えていくことです。そして、それぞれの項目について現状や課題、あるべき姿や取り組む順位を整理することにより、集落独自の実効性の高いビジョンやプランになります。

ビジョンづくりを考える順位

- ① 集落内で作られなくなった農地がでてきたらどうする?
- ② これからも、今頼んでいる農作業を受託してくれるのか?
- ③ 今、新しい農機具を持っていても、数年後には買いかえがくる。そのとき、どうするのか?
- ④ これからの担い手をどうするのか

みんなに共通することから...

## 3 地域の活性化に向けて

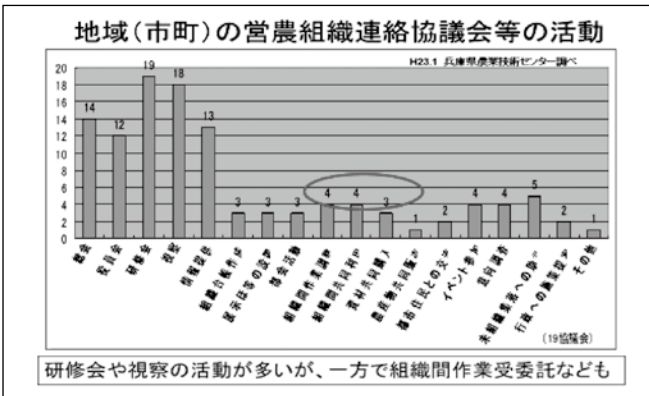
### (1) 地域・地区で連携を考えよう

図は県下の営農組織連絡協議会の活動を調べたものです。

研修会や視察研修が大半の協議会で行われていますが、さらによく見ると営農組織間で農作業の調整やコンバインやキャリアカーなどの機械の共同利用、肥料や農薬などの資材の共同購入などに取り組まれている協議会もあります。

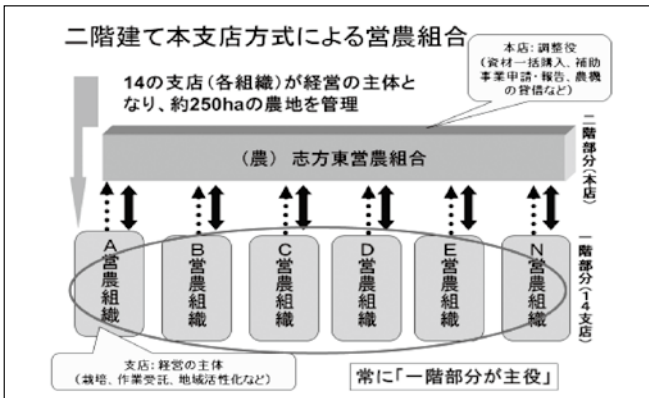
一つの生産組合や営農組織、集落だけでできない部分を地域や地区内で連携し、生産性の向上を図ること

も重要となります。



### (2) 営農組織の再編、法人化

加古川市の(農)志方東営農組合では、8ha規模の営農組織から42ha規模の営農組織まで14の営農組織が集まり、二階建て方式による法人組織を立ち上げられています。経営規模の小さな組織では法人化すると多くの経費が必要となりますが、このように再編することにより法人化も可能となります。



### (3) 女性や高齢者、若者の参画

小野市の(農)きすみの営農では、農繁期になると非農家の方を中心とする農繁期応援隊が農作業の応援を行うとともに、7名の女性がオペレーターや経理事務を担当し、きめ細かな農作業やわかりやすい広報紙の発行などが行われています。

また、このような取り組みにより新たな担い手が生まれてきています。

**営農組合のスタッフとして女性が活躍**

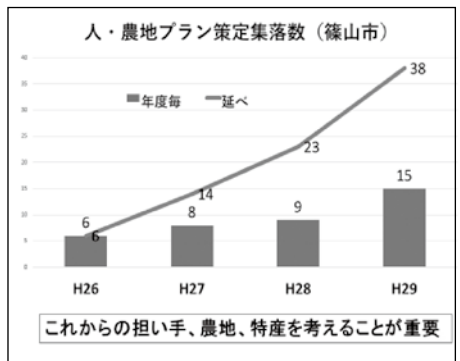
・オペレーターとして  
・事務、広報担当として

現在、7名の女性が活躍中

### (4) ビジョンやプランを創ろう

篠山市では10月末現在で39プラン(41集落)が作成されています。また、味間地区では18集落中9集落で取り組み、4集落がプランを作成されています。

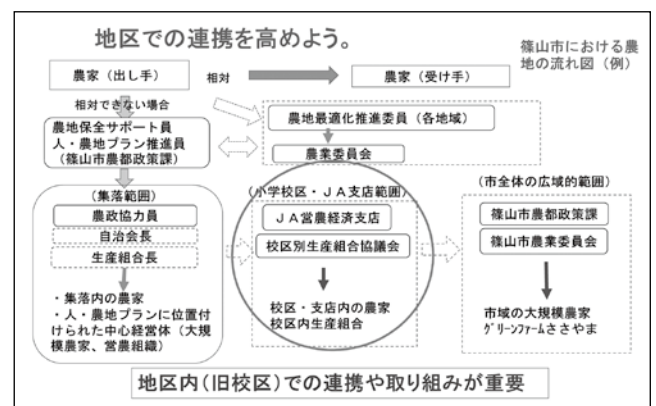
農地が集約され、耕作者が減少していく中で、これからの農地をどうするのか、担い手をどうするのか、さらには草刈りや水入れ、獣害防止策



や特産をどうするのかなど、集落の5年先、10年先を見据えた中でいろいろな課題を見つけ出し、みんなで話し合い、取り組んでいく方向を明確にしたビジョンづくりが重要です。

### (5) 地区での連携を高めよう

篠山市における農地の流れを表すと下図のようになります。



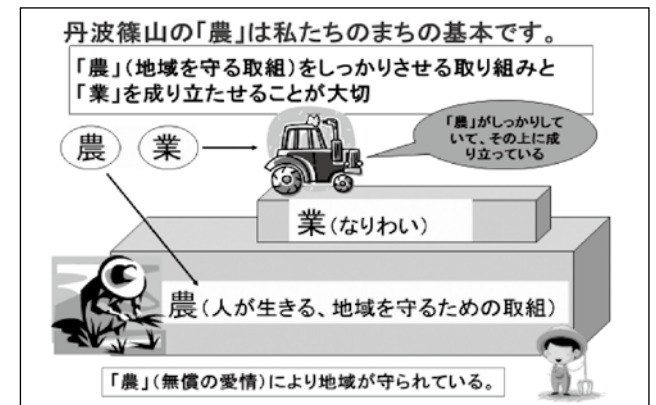
農地の委託者と受託者が相対で貸し借りできない場合は、市の農地保全サポート員が該当集落の農政協力員さんに相談しますが、集落内で受け手がいない場合はサポートが難しい状況となっています。

今後、味間地区の範囲に広げて相談ができたり、いろいろな連携ができる仕組みが充実すれば、さらに地域農業の活性化につながります。

### 4 おわりに

今日の農業では「業」が重視されはじめ、池や用水路、農道の維持などといった「農」の仕組みが薄れつつあります。

農業を取り巻く環境が大きく変わりつつある中で、今一度、集落や地区、地域で「農」の大切さを見つめなおし、考えていくことが重要となっています。



# あじまの話題とお知らせ

## ■平成30年度味間地区運動会の結果

平成30年度味間地区運動会が平成30年10月8日(月・体育の日)、四季の森運動公園で開催されました。成績は次のとおりです。

### 1 総合成績

順位	チーム名	総合得点
優勝	春日(東吹下・吹新)	39点
準優勝	吹東(東吹上・東吹中)	31点
3位	味間南	30点

### 2 予選・決勝種目の成績

種目	優勝チーム名
アベックキック	春日(東吹下・吹新)
安全運転競争	春日(東吹下・吹新)
ゲート入門競争	味間新
綱引き	網掛
スプーンレース	春日(東吹下・吹新)
ボーリング競争	大沢新
メドレーリレー	住吉台

### 3 決勝種目の成績

種目	優勝チーム名
みんなでジャンプ	春日(東吹下・吹新)・西古佐・吹東(東吹上・東吹中)
玉入れ	吹東(東吹上・東吹中)・味間新・弁天

## ■丹南中学校 あいさつ6カ条 —丹南中学校生徒会—

丹南中学校では生徒会が「あいさつ6

カ条」を定めて、あいさつ運動に取り組んでいます。

- 1 大きな声で明るくあいさつしよう
- 1 自分からあいさつしよう
- 1 相手と目を合わせてあいさつしよう
- 1 姿勢を正してあいさつしよう
- 1 誰にでもあいさつしよう
- 1 いつでもどこでもあいさつしよう



## ■第2回走り方教室を開催しました

第2回走り方教室を平成30年11月18日(日)、味間小学校で開催しました。鬼ごっこなどを交えながら、走り方の基本、スタートの仕方などを学びました。



## ■音羽の森もみじまつり

音羽の森もみじまつりを平成30年11月24日(土)、音羽の森子育て広場で開催しました。



## ■三世代交流・味間っ子ふれあい祭 —味間小学校・同PTA—

三世代交流・味間っ子ふれあい祭を平成30年12月1日(土)、味間小学校で開催しました。

当日は、福寿会、いずみ会をはじめ、多くの皆さんにお世話になり、心から厚く御礼申し上げます。

今後とも、地域との関わり、ふれあい活動を大切にしていけますので、よろしくをお願いします。

## ■資源回収・ベルマーク収集の御礼 —味間小学校・同PTA—

年2回の資源回収・ベルマーク収集には味間地区の皆さんに大変お世話になり、本当にありがとうございました。

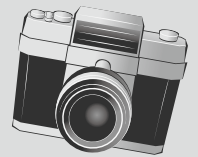
今後とも、ご理解とご支援のほど、よろしくをお願いします。

## ■オープンスクールのご案内 —味間小学校—

次のとおりオープンスクールを開催します。是非とも小学校の様子をご覧ください。

日時 平成31年2月2日(土)終日

# 募集 「第4回味間の魅力 再発見！ わいわい写真コンクール」



「味間の魅力 再発見！わいわい写真コンクール」の作品を募集しています。味間地区で撮影されたものであれば何でもOK。地域の行事・まつり・風景など、お気に入りの写真をお待ちしています。

### 1 テーマ

味間地区で撮影されたものであれば何でもOK(1年以内に撮影したものに限り)

### 2 応募期間

平成30年11月27日(火)  
～平成31年1月29日(火)

### 3 応募先

〒669-2205 篠山市網掛429  
味間地区まちづくり協議会

### 4 賞・参加賞

- ◆最優秀賞 1点(賞状・賞品)
- ◆優秀賞 3点(賞状・賞品)
- ◆入選 数点(賞状・賞品)
- ◆参加費 応募者全員

### 5 応募方法

所定の応募票を作品の裏面に貼り付け、応募

### 6 応募規定

- (1)A4、四つ切り、ワイド四つ切りのいずれか
- (2)カラーまたはモノクロ  
(組写真、合成写真は不可)

(3)応募点数は1人3点以内で未発表の作品に限ります

(4)入賞はおひとり1点とし、上位の賞を優先します

### 7 審査

平成31年2月上旬

### 8 発表

入賞作品は平成31年2月中旬、入賞者本人に連絡します

### 9 表彰・展示

表彰式・展示は平成31年3月ごろを予定

### 10 その他

応募票は四季の森生涯学習センターに置いています